

古文書を讀んで

むかしの災害を調べよう

古文書を実際に解読する作業を通じて、過去の自然災害がどのように記録されてきたかを知り、今後の災害軽減について考えます。

ひらめき☆ときめきサイエンス～ようこそ大学の研究室へ～ KAKENHIプログラム概要

- 講義**
- 1 「古災害研究—なぜむかしの災害を調べるのか」
古災害研究の意義を学びます。
 - 2 「くずし字解読の基礎」
後半の実習に必要な知識を身につけます。
- 実習**
- 1 「古文書を読んでみよう(明治の日記)」
明治期の日記を中心に解読します。
 - 2 「古文書を読んでみよう(江戸の古文書)」
安政江戸地震に関する史料を中心に解読します。

最後に発表会として、解読結果を発表し、答え合わせと質疑応答で締めくくります。

※同じ内容で2回開講します。両方を受講することはできません。8月8日(土)は、原則オンラインで開催します。10月4日(日)は、新型コロナウイルス感染症対策の状況を踏まえ、地震研究所またはオンラインで開催します。

先生(代表者)プロフィール



加納 靖之 かのう やすゆき

東京大学地震研究所・准教授

地震の研究をしています。2011年頃から、古文書を読んでむかしの地震や災害を調べる研究をはじめました。これに関連して、市民参加型の歴史資料の解読プロジェクト「みんなで翻刻」を仲間たちと立ちあげたり、ニコニコ動画さんとコラボして、生放送をしたりしています。

持ち物

パソコンまたはタブレット*、インターネット接続*、筆記用具
漢字辞典(もしあれば)、昼食 *オンライン開催の場合

特記事項

オンライン会議用のソフトウェアZoomを使用する予定です。接続方法等は受講者確定後にお知らせします。インターネット接続は受講生でご準備ください。

新型コロナウイルス感染症の状況が改善し、地震研究所にお越しいただける状況になった場合、希望者は地震研究所にお越しいただけます。地震研究所にお越しになる方は、パソコン(タブレット)やインターネット接続は不要です。

お申し込み

下記の日本学術振興会HPからお申し込みください。

<https://www.jsps.go.jp/hirameki/index.html>

ひらめき☆ときめきサイエンス

検索

※当プログラムは先着順にて受付を行います。

お申し込み締切日: 7月31日(金) — 8月8日(土) 開催分
: 9月15日(火) — 10月4日(日) 開催分

受講対象
高校生
各回募集人数
30名

開催日

2020年

8月8日[土]
10月4日[日]

開催会場

オンライン(接続方法は後日連絡)または、
東京大学地震研究所
〒113-0032 東京都文京区弥生1-1-1
[集合場所] オンライン/東京大学地震研究所1号館玄関
[集合時間] 10:00

お問い合わせ

東京大学地震研究所 加納 靖之

〒113-0032 東京都文京区弥生1-1-1

Tel:03-5841-5696 Fax:03-5841-0797 E-mail:ykano@eri.u-tokyo.ac.jp

